

大阪北部地震（台風21号を含む）り災証明
取得者へのアンケート調査 報告書

摂 津 市

令和元年10月

【目次】

調査概要

1	趣旨	1
2	調査対象及び調査数	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収率	1
問1	あなた自身についてお答えください	2
問2	あなたのお住まいについてお答えください	2
問3	り災証明を取得した住宅についてお答えください	3
問4	大阪北部地震（台風21号を含む）による被害はどの程度ですか	7
	問3・問4のクロス集計	7
問5	大阪北部地震（台風21号を含む）による被害は具体的に家屋のどの部分ですか	8
問6	修繕・住み替え・建て替えは完了しましたか	9
	問1・問6のクロス集計	10
問7	修繕・住み替え・建て替えに要した期間はどれくらいでしたか	11
問8	修繕・住み替え・建て替えにかかった費用を教えてください	11
問9	現在の状況を教えてください	12
問10	問9で「2（業者は決めたが、まだ未着工）」と回答した方にお尋ねします その理由をお答えください	13
問11	問9で「3（修繕等の意思はあるが、まだ業者を未決定）」と回答した方にお尋ねします その理由をお答えください	14
問12	問9で「4（修繕等をすべきか迷っている）」と回答した方にお尋ねします その理由をお答えください	15
問13	被災住宅修繕支援金制度を知っていましたか	16
	問1・問13のクロス集計	17
問14	被災住宅修繕支援金制度をどこで最初に知りましたか	18
問15	被災住宅修繕支援金制度を利用しなかった理由をお答えください	19
問16	被災住宅修繕支援金制度を利用できなかったのは どの部分の要件を満たせなかったからですか	20
問17	大阪府が実施している大阪版被災住宅無利子融資制度を知っていましたか	21
問18	今後、住宅の修繕に関する市からの情報発信について、 特に充実してほしい内容はどれですか	22
問19	大阪北部地震の発災時には地震保険に加入していましたか	23
問20	昨年の地震や台風を受けて、新たに取り組んだことはありますか	24
問21	摂津市の被災住宅支援について、ご自由に意見をお書きください	25
	全体総括	26

【調査概要】

1 趣旨

大阪北部地震の発災後1年が経過し、被災住宅の修繕や住み替え・建て替え等ある程度の目途が立ち始めた時期ではないかと思われる。しかしながら、現在でも依然として屋根にブルーシートが掛かったままの住宅も見受けられ、実際に住宅の修繕等がどの程度完了しているのか、十分に把握ができていない。

そこで、下記のとおり、り災証明の取得者にアンケート調査を実施することで、被害家屋等の復旧状況の把握や今後大きな災害が発生した際の支援施策に活用するための資料とする。

2 調査対象者及び調査数

【調査対象者】 大阪北部地震のり災証明を申請した人の中で、軽微な被害を除いた世帯。
(摂津市外に在住の人、事業所は除く。)

【調査数】 1, 245件

3 調査期間

令和元年7月(アンケート発送7月12日、回答期限7月31日)

※ただし、回答期限以降に届いた回答についても可能な限り集計に加えた。

4 調査方法

郵送による調査票の配付・回収

5 回収率

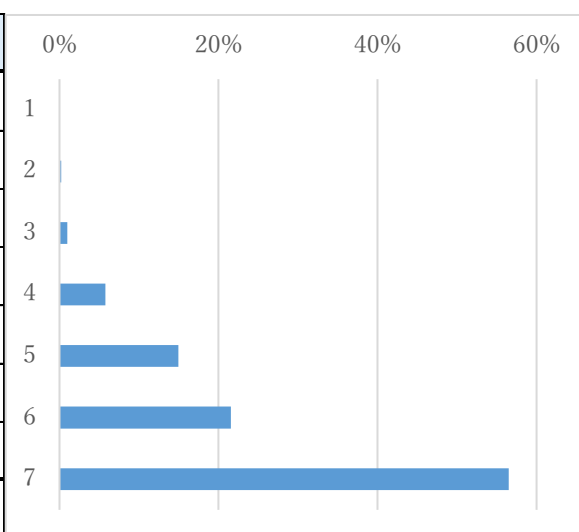
40.8%(508件)

※各質問の集計における回答比率は四捨五入の都合上100%にならないものもあります。

問1 あなた自身についてお答えください。

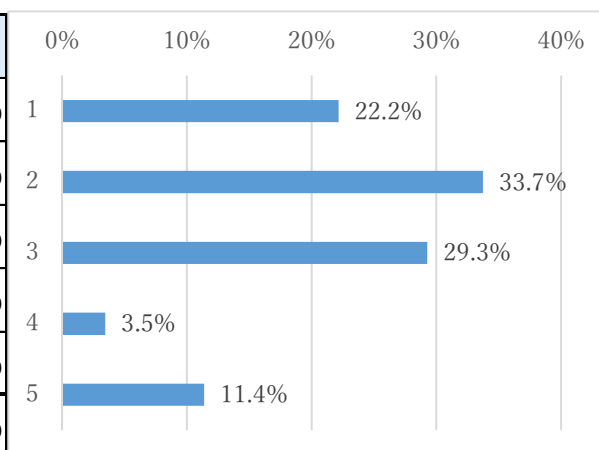
①年齢

	回答数	回答比率
1. 20歳未満	0	0.0%
2. 20歳代	1	0.2%
3. 30歳代	5	1.0%
4. 40歳代	29	5.8%
5. 50歳代	75	15.0%
6. 60歳代	108	21.6%
7. 70歳以上	283	56.5%
合計	501	100.0%



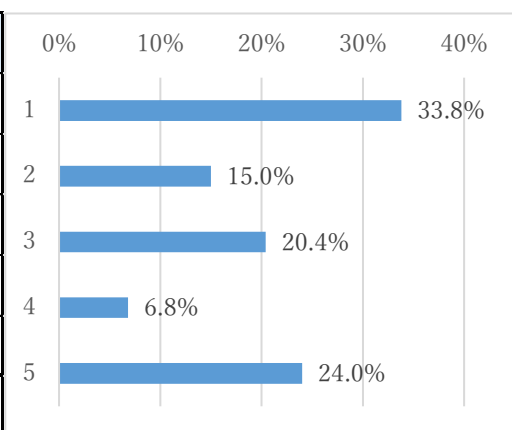
②家族構成

	回答数	回答比率
1. 単身	109	22.2%
2. 夫婦のみ	166	33.7%
3. 二世帯世帯	144	29.3%
4. 三世帯世帯	17	3.5%
5. その他	56	11.4%
合計	492	100.0%



問2 あなたのお住まいについてお答えください。

	回答数	回答比率
1. 第一中学校区	169	33.8%
2. 第二中学校区	75	15.0%
3. 第三中学校区	102	20.4%
4. 第四中学校区	34	6.8%
5. 第五中学校区	120	24.0%
合計	500	100.0%



問3 り災証明を取得した住宅についてお答えください。

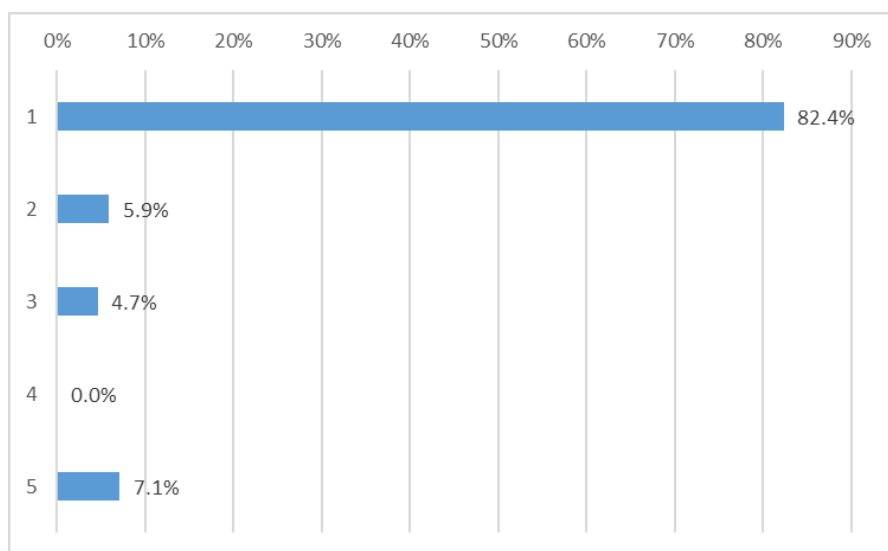
①持家・借家

	回答数	回答比率
1. 持家である（住宅の所有者）	476	96.0%
2. 借家である	20	4.0%
合計	496	100.0%

※本調査を行うにあたり、持家（住宅の所有者）と思われる人を対象にアンケートを送付しているため、り災証明を取得した人の96%が持家（住宅の所有者）ということではない。

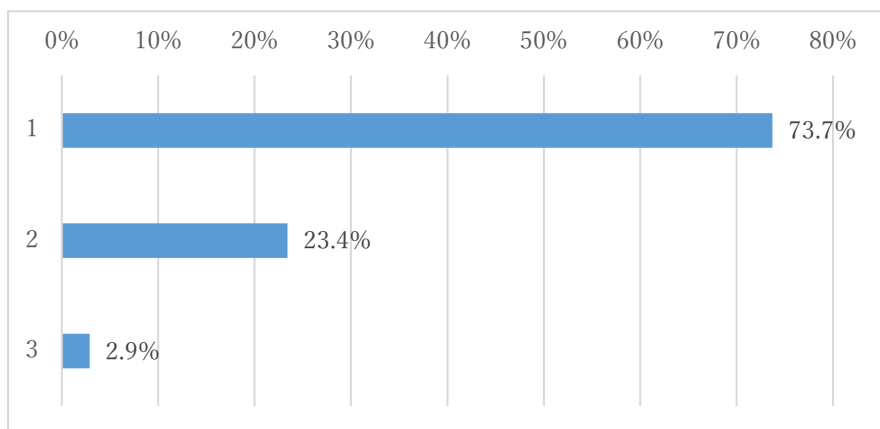
②住宅の形態

	回答数	回答比率
1. 一戸建て	407	82.4%
2. マンション	29	5.9%
3. アパート・文化住宅	23	4.7%
4. 社宅・寮・下宿	0	0.0%
5. その他	35	7.1%
合計	494	100.0%



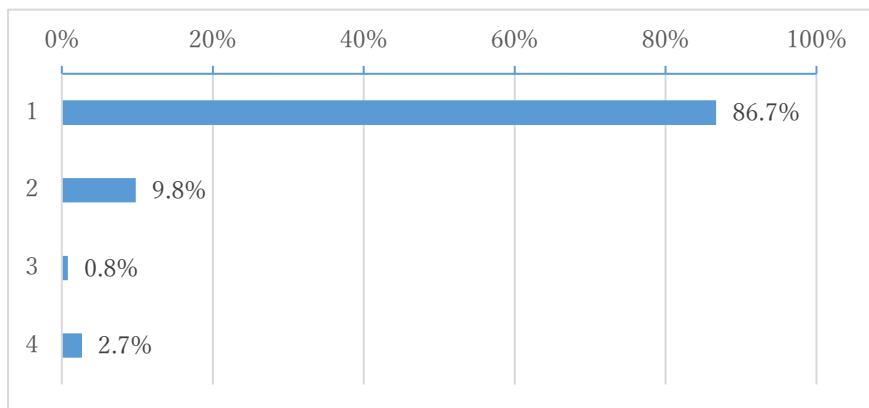
③築年月日

	回答数	回答比率
1. 昭和56年5月以前	359	73.7%
2. 昭和56年6月以降	114	23.4%
3. 不明	14	2.9%
合計	487	100.0%



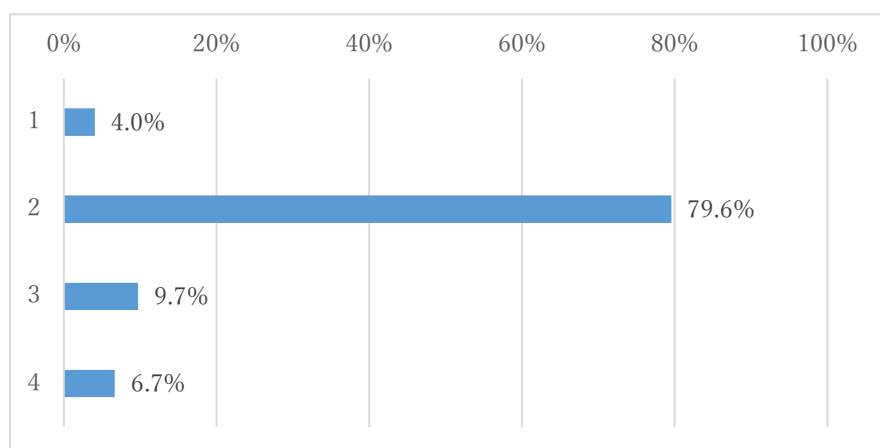
④住宅の構造

	回答数	回答比率
1. 木造	424	86.7%
2. 鉄骨	48	9.8%
3. 軽量鉄骨	4	0.8%
4. その他	13	2.7%
合計	489	100.0%



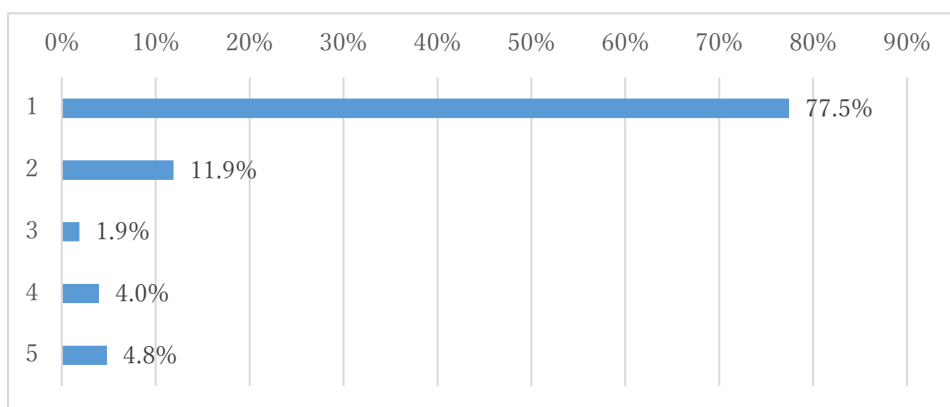
⑤階層

	回答数	回答比率
1. 平屋	20	4.0%
2. 2階建て	393	79.6%
3. 3階建て	48	9.7%
4. その他	33	6.7%
合計	494	100.0%



⑥屋根の種類

	回答数	回答比率
1. 瓦	371	77.5%
2. スレート	57	11.9%
3. 金属板	9	1.9%
4. 陸屋根	19	4.0%
5. その他	23	4.8%
合計	479	100.0%

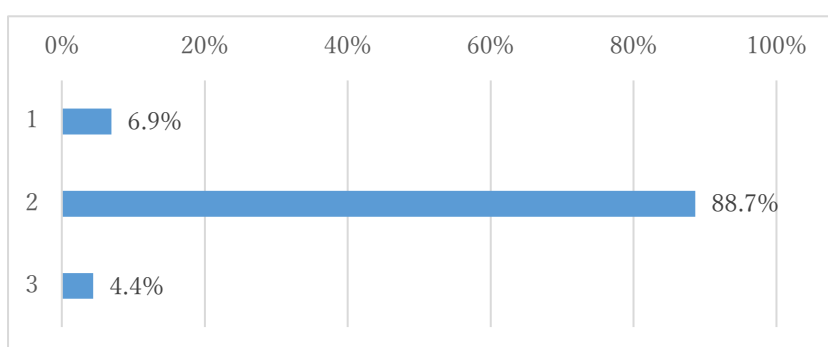


【集計分析】

り災証明を取得した住宅のうち、一戸建てと回答した割合が高く、大阪北部地震において被害を受けた住宅の8割以上が一戸建てであることがわかる。また、昭和56年5月以前に建てられた旧耐震基準の住宅が7割以上を占めていることから、被害を受けた住宅の多くが旧耐震基準の頃に建てられた一戸建ての住宅であることがわかる。

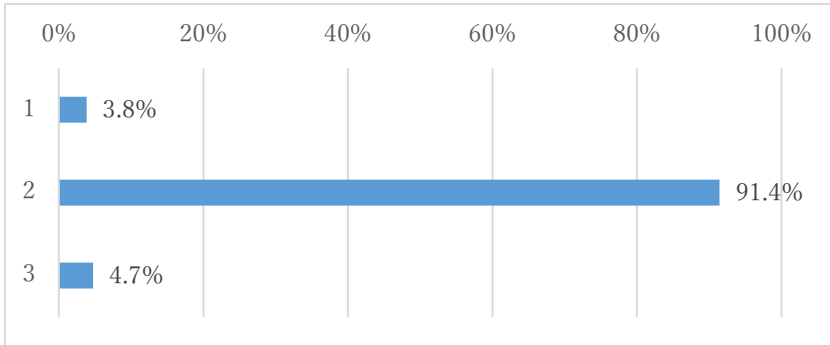
問4 大阪北部地震（台風21号を含む）による被害はどの程度ですか。

	回答数	回答比率
1. 修繕するほどではない	33	6.9%
2. 修繕を要する	422	88.7%
3. 住み替え・建て替えを要する	21	4.4%
合計	476	100.0%



さらに、築年月日と被害の程度との間に相関関係がないかどうかを分析するために、問3 築年月日で「昭和56年5月以前に建築」と回答した人の中でクロス集計を行った。

	回答数	回答比率
1. 修繕するほどではない	13	3.8%
2. 修繕を要する	309	91.4%
3. 住み替え・建て替えを要する	16	4.7%
合計	338	100.0%



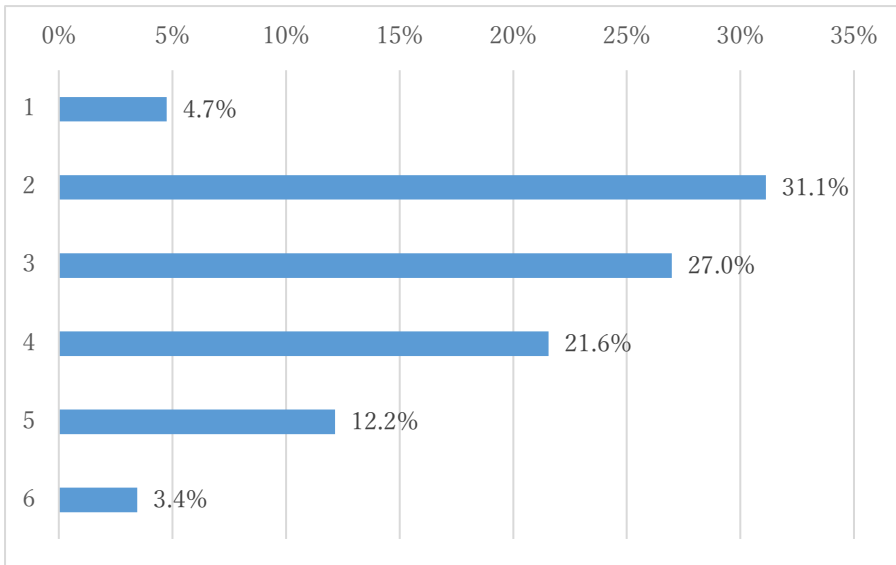
【集計分析】

「1. 修繕するほどではない」と回答した人の割合が6.9%から3.8%と3.1ポイント減少し、その他の選択肢では93.1%から96.1%と3ポイント増加していることから、昭和56年5月以前に建築された住宅の方がより被害の程度が大きかったことがわかる。

問5 大阪北部地震（台風21号を含む）による被害は具体的に家屋のどの部分ですか。

(複数回答可)

	回答数	回答比率
1. 家の傾き	55	4.7%
2. 外壁・基礎	361	31.1%
3. 屋根	313	27.0%
4. 内装・外装	250	21.6%
5. 建具・ガラス・ベランダ等	141	12.2%
6. その他	40	3.4%
合計	1160	100.0%

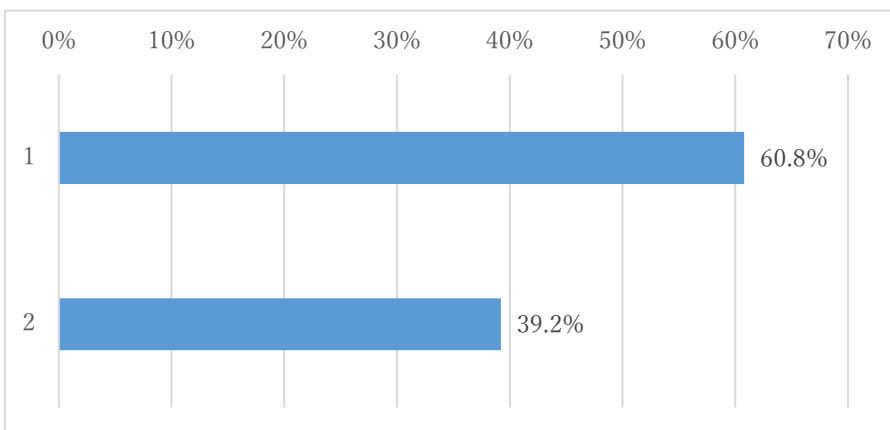


【集計分析】

被害の箇所については、「外壁・基礎」、「屋根」、「内装・外装」の順で多かったことがわかる。

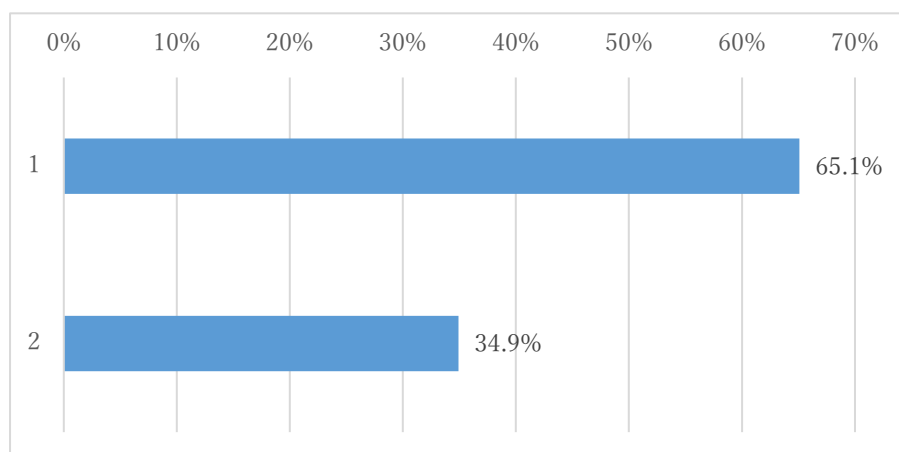
問6 修繕・住み替え・建て替えは完了しましたか。【問4で「2（修繕を要する）」もしくは「3（住み替え・建て替えを要する）」と回答した方にお尋ねします。】

	回答数	回答比率
1. 完了している	259	60.8%
2. まだ完了していない	167	39.2%
合計	426	100.0%



さらに、高齢者のみ世帯の修繕等の状況を分析するために、問1 ①で「6. 60歳代」もしくは「7. 70歳以上」と回答し、②で「1. 単身」もしくは「2. 夫婦のみ」と回答し、問4で「2. 修繕を必要とする程度」もしくは「3. 住み替え（建て替え）を必要とする程度」と回答した人の中でクロス集計を行った。

	回答数	回答比率
1. 完了している	123	65.1%
2. まだ完了していない	66	34.9%
合計	189	100.0%

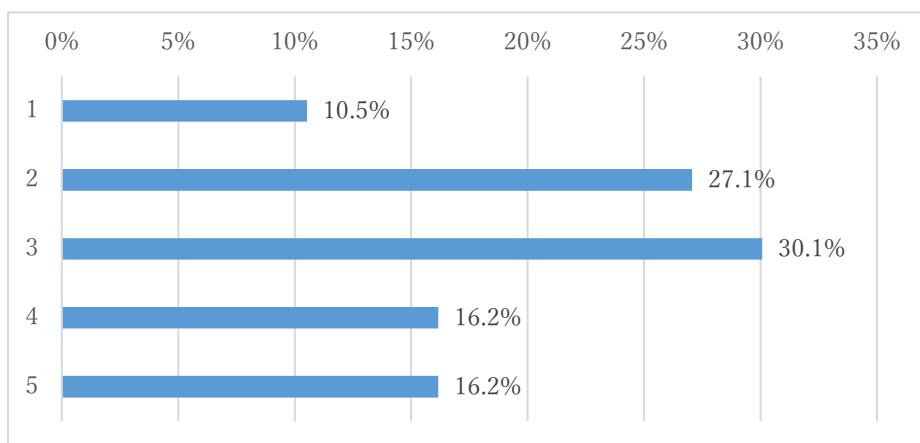


【集計分析】

全体では修繕等が完了していないのは約40%であることがわかる。また、60歳代以上の単身・夫婦のみの世帯に絞って集計をすると、修繕等が完了していないのは約35%であることがわかった。このことから、高齢者世帯の方が完了している割合が若干高いことがわかる。

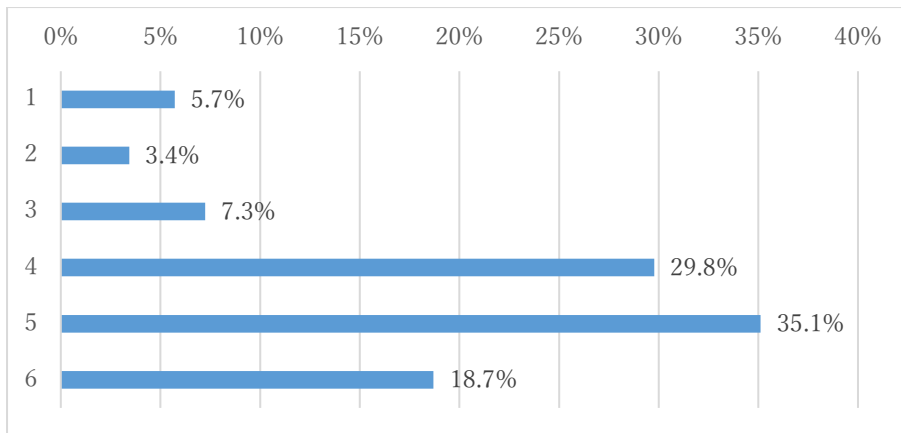
問7 修繕・住み替え・建て替えに要した期間はどれくらいでしたか。【問6で「1（完了している）」と回答した方にお尋ねします。】

	回答数	回答比率
1. 地震発災後1カ月以内	28	10.5%
2. 地震発災後3カ月以内	72	27.1%
3. 地震発災後6カ月以内	80	30.1%
4. 地震発災後9カ月以内	43	16.2%
5. 地震発災後9カ月以降	43	16.2%
合計	266	100.0%



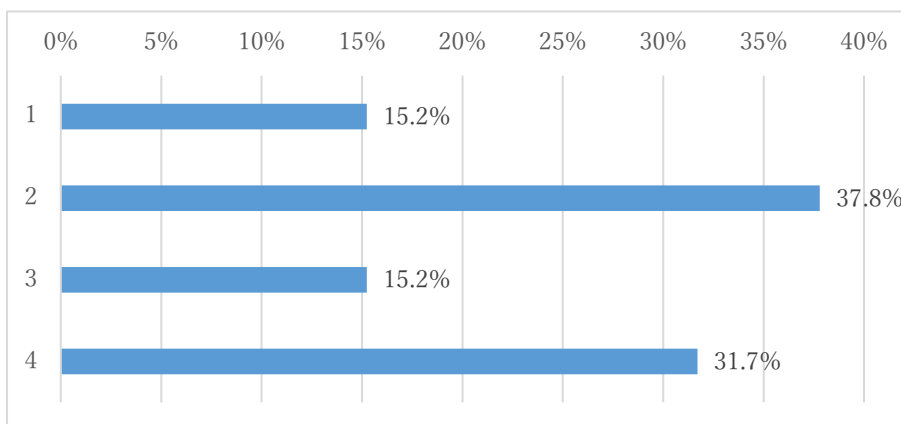
問8 修繕・住み替え・建て替えにかかった費用を教えてください。(家具等の家財は除く)【問6で「1（完了している）」と回答した方にお尋ねします。】

	回答数	回答比率
1. 10万円未満	15	5.7%
2. 10万円以上20万円未満	9	3.4%
3. 20万円以上30万円未満	19	7.3%
4. 30万円以上100万円未満	78	29.8%
5. 100万円以上300万円未満	92	35.1%
6. 300万円以上	49	18.7%
合計	262	100.0%



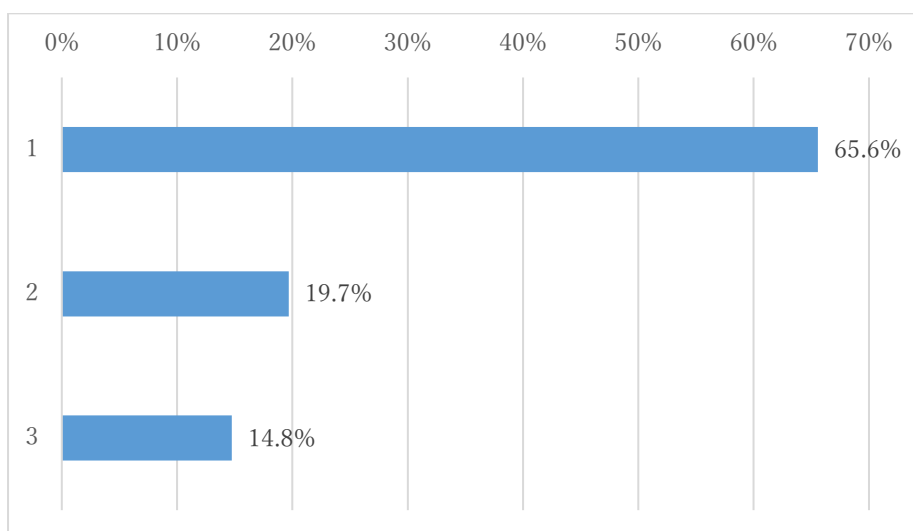
問9 現在の状況を教えてください。【問6で「2（まだ完了していない）」と回答した方にお尋ねします。】

	回答数	回答比率
1. 現在、修繕等の工事中	25	15.2%
2. 業者は決めたが、まだ未着工	62	37.8%
3. 修繕等の意思はあるが、まだ業者を決めていない	25	15.2%
4. 修繕等をすべきか迷っている	52	31.7%
合計	164	100.0%



問10 問9で「2（業者は決めたが、まだ未着工）」と回答した方にお尋ねします。その理由をお答えください。

	回答数	回答比率
1. 修繕等の依頼をしたが、まだ着工の順番待ちの状態	40	65.6%
2. 修繕等について詳細を業者と打合せ中	12	19.7%
3. その他	9	14.8%
合計	61	100.0%



「3. その他」の主な意見

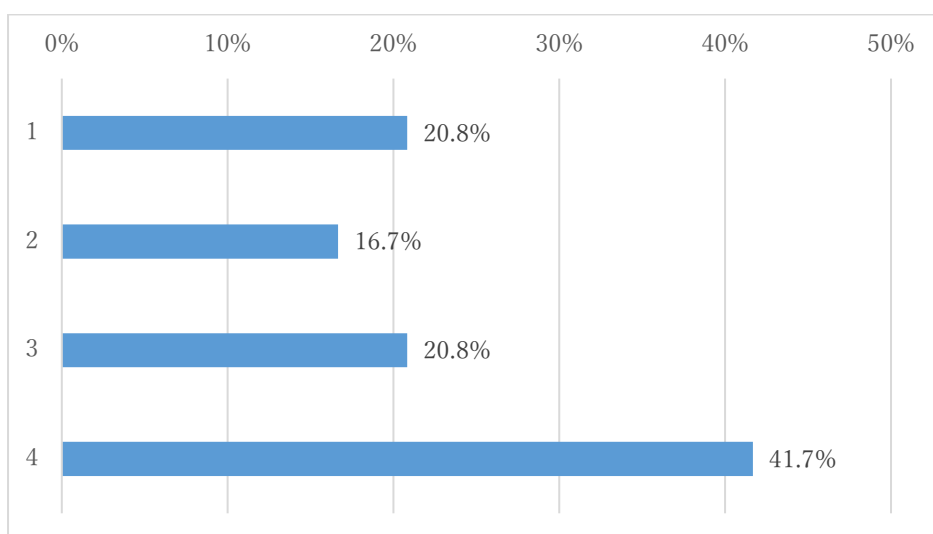
- ・一部は修繕済みだが、資金面の兼ね合いですべては終わっていない。
- ・保険が下りたら工事を始める。
- ・マンションのため、管理組合が日程を調整中。

問11 問9で「3（修繕等の意思はあるが、まだ業者を決めていない）」と回答した方にお尋ねします。その理由をお答えください。

	回答数	回答比率
1. 見積もりを依頼中	5	20.8%
2. 見積もりが高額なため、他社の見積もりを取っているところ	4	16.7%
3. どのような業者に依頼すればよいかわからない	5	20.8%
4. その他	10	41.7%
合計	24	100.0%

「4. その他」の主な意見

- ・資金面の問題で決めていない。
- ・どの範囲まで修繕をするか迷っている。
- ・マンション管理組合がまだ動いていない。

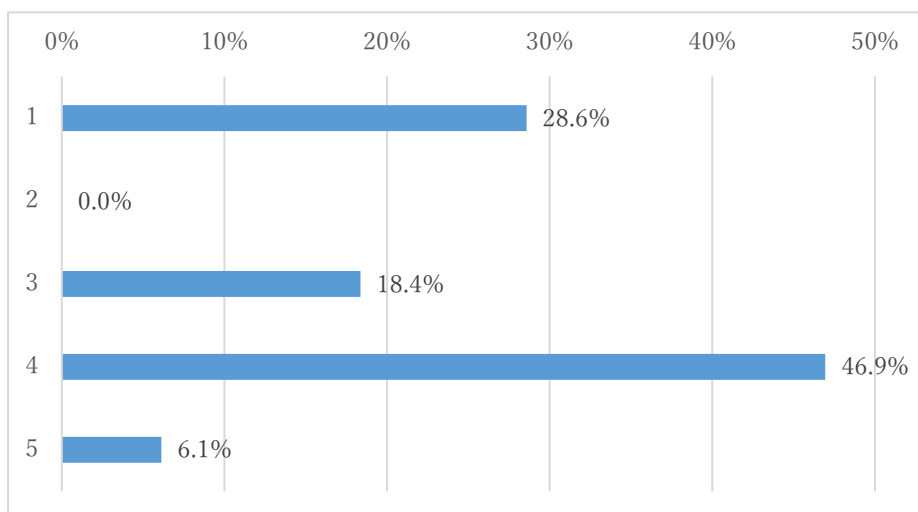


問12 問9で「4（修繕等をすべきか迷っている）」と回答した方にお尋ねします。その理由をお答えください。

	回答数	回答比率
1. 修繕等の資金がない	14	28.6%
2. ほかに優先すべき支出先がある	0	0.0%
3. 先行きに不安があり、資金を使うの ためらいがある	9	18.4%
4. 応急処置で対応し、様子を見ている	23	46.9%
5. その他	3	6.1%
合計	49	100.0%

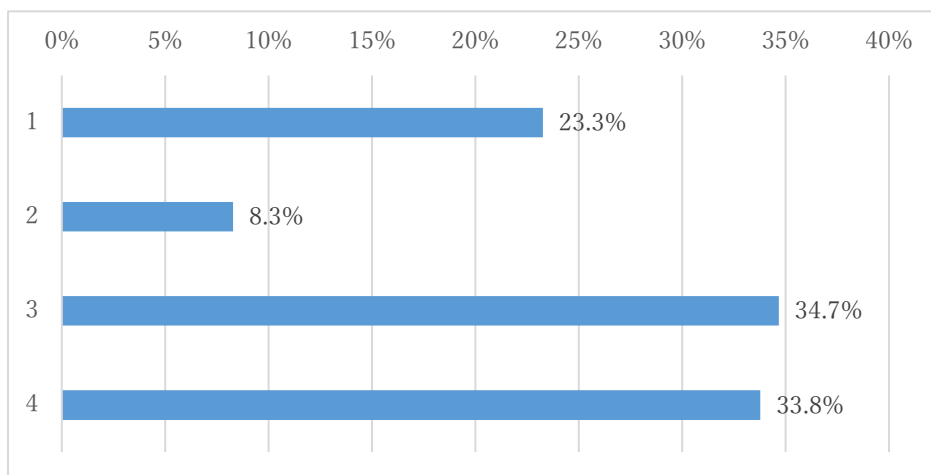
「4. その他」の主な意見

- ・修繕をするには古く、建て替えをするには費用がかかるため、迷っている。
- ・入居者と調整中。



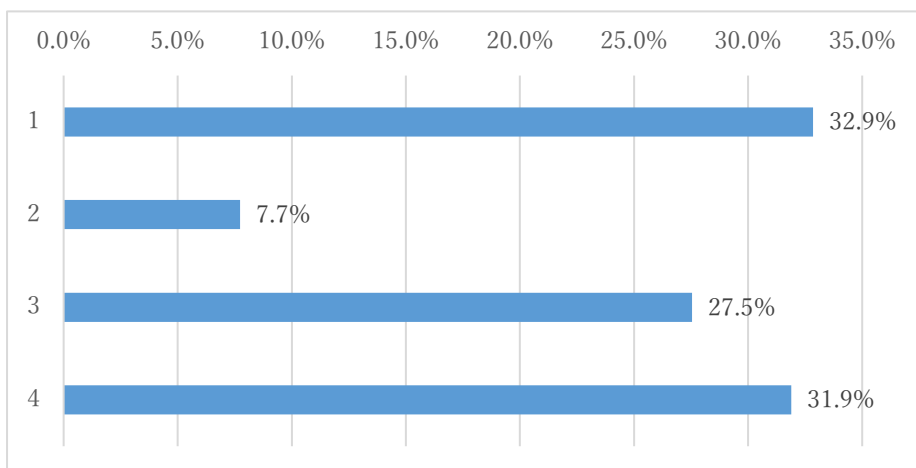
問 1 3 被災住宅修繕支援金制度を知っていましたか。

	回答数	回答比率
1. 制度を知っており利用した	104	23.3%
2. 制度を知っており、要件を満たしていたが利用はしなかった	37	8.3%
3. 制度を知っていたが、要件を満たせず利用できなかった	155	34.7%
4. 制度を知らなかった	151	33.8%
合計	447	100.0%



さらに、高齢者のみ世帯の認知度・利用率を分析するために、問1 ①で「6. 60歳代」もしくは「7. 70歳以上」と回答し、②で「1. 単身」もしくは「2. 夫婦のみ」と回答した人の中でクロス集計を行った。

	回答数	回答比率
1. 制度を知っており利用した	68	32.9%
2. 制度を知っており、要件を満たしていたが利用はしなかった	16	7.7%
3. 制度を知っていたが、要件を満たせず利用できなかった	57	27.5%
4. 制度を知らなかった	66	31.9%
合計	207	100.0%

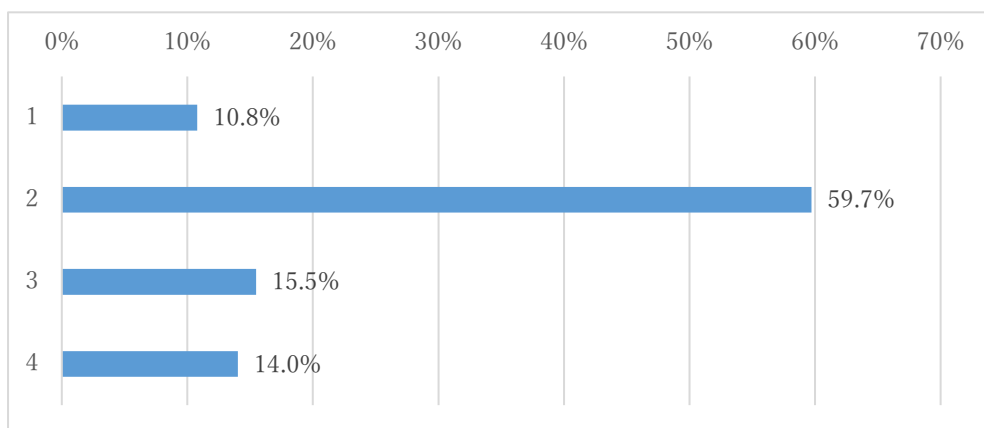


【集計分析】

全体集計と比較して、高齢者のみ世帯の認知度・利用率は高くなったが、全体集計と同様に制度を知らなかったという人が30%を越えていることから、より支援制度を広く周知する方法について検討していく必要があるといえる。

問14 被災住宅修繕支援金制度をどこで最初に知りましたか。【問13で「4（制度を知らなかった）」以外を回答した方にお尋ねします。】

	回答数	回答比率
1. 市ホームページ	30	10.8%
2. 広報せつつ	166	59.7%
3. 被災者支援総合窓口	43	15.5%
4. その他	39	14.0%
合計	278	100.0%



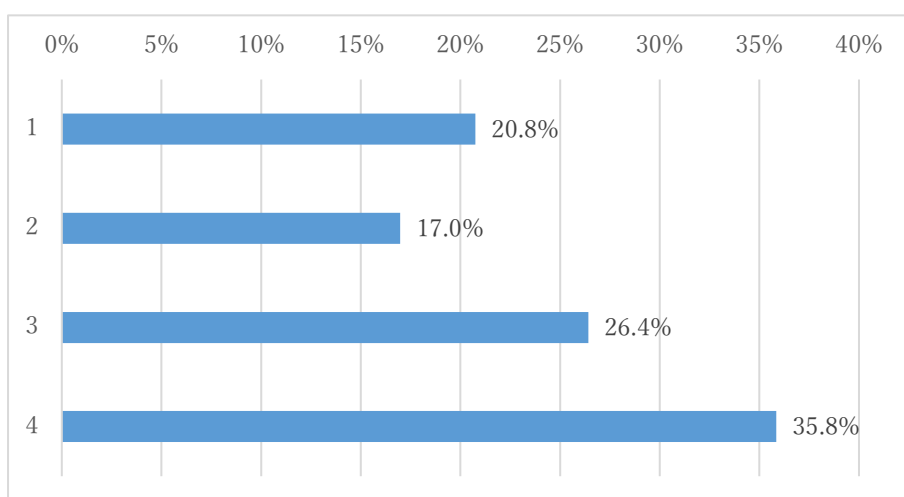
「4. その他」の主な意見

- ・近所の人や友人、自治会の回覧、工務店から聞いた。

問 1 5 被災住宅修繕支援金制度を利用しなかった理由をお答えください。(複数回答可)

【問 1 3 で「2 (要件を満たしていたが利用しなかった)」と回答した方にお尋ねします。】

	回答数	回答比率
1. 手続きが面倒であったため	11	20.8%
2. 体調面や仕事等の理由で市役所に手続きに行くことができなかったため	9	17.0%
3. 保険金で修繕することができたため	14	26.4%
4. その他	19	35.8%
合計	53	100.0%

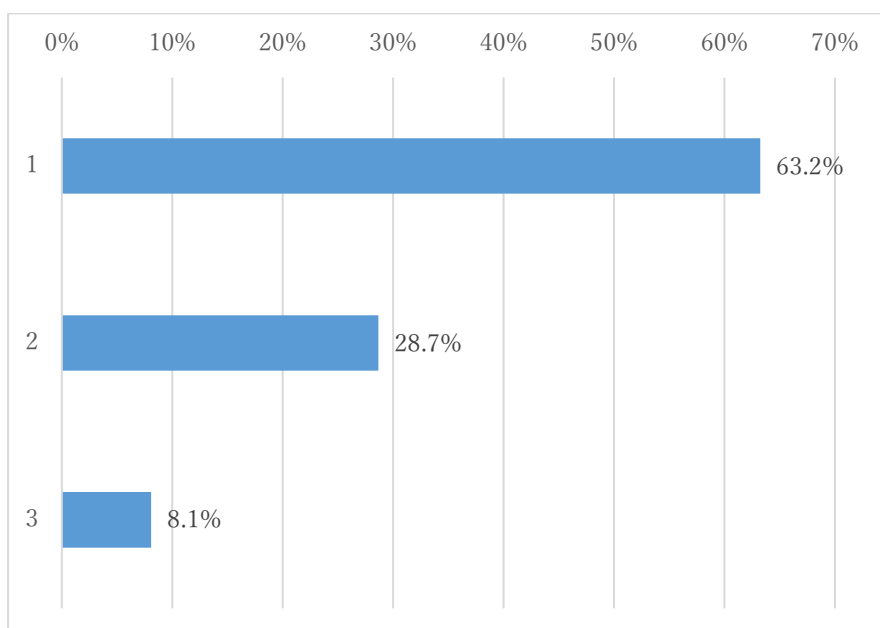


「4. その他」の主な意見

- ・補助制度が少額すぎる。

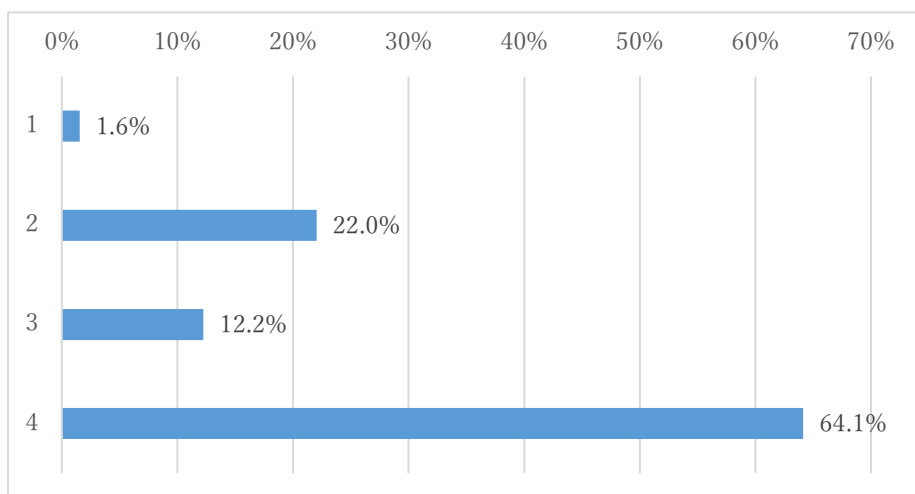
問 1 6 被災住宅修繕支援金制度を利用できなかったのはどの部分の要件を満たせなかったからですか。【問 1 3 で「3 (要件を満たせず利用できなかった)」と回答した方にお尋ねします。】

	回答数	回答比率
1. 所得要件を満たせなかったため (世帯の総所得が 4 3 0 万円を超える場合は対象外のため)	86	63.2%
2. 修繕支援金の支給対象部分にかかる工事費が 3 0 万円に満たなかったため (被害の大部分が支給対象外である内装や天井、家具類だったため)	39	28.7%
3. 分譲マンションの所有者なので申請できなかった (内装部分の修繕は支援金の支給対象外のため)	11	8.1%
合計	136	100.0%



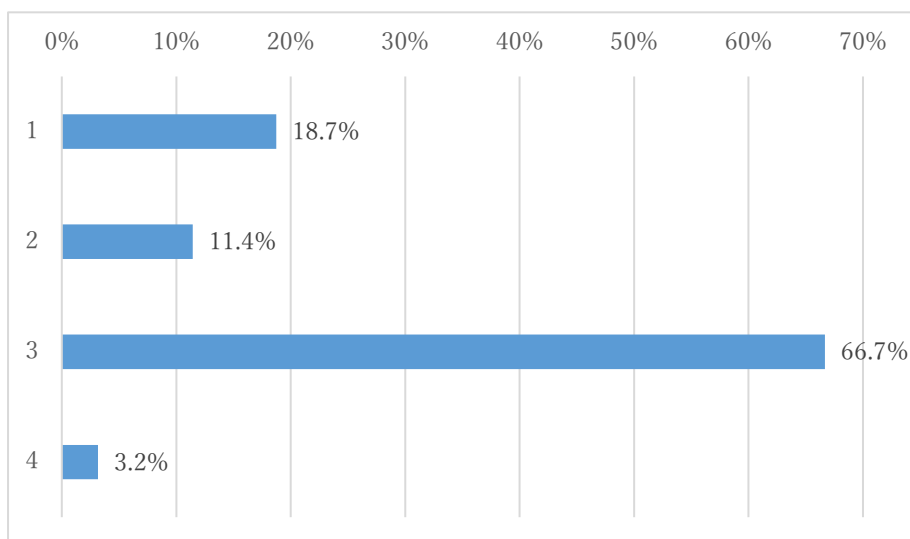
問 1 7 大阪府が実施している大阪版被災住宅無利子融資制度を知っていましたか。

	回答数	回答比率
1. 制度を知っており利用した	7	1.6%
2. 制度を知っており、要件を満たしていたが利用はしなかった	99	22.0%
3. 制度を知っていたが、要件を満たせず利用できなかった	55	12.2%
4. 制度を知らなかった	288	64.1%
合計	449	100.0%



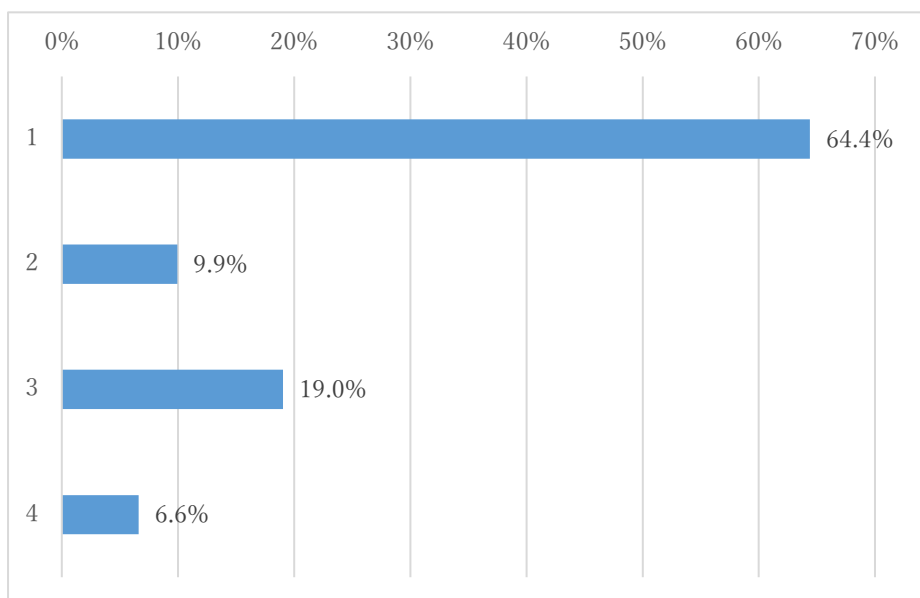
問18 今後、住宅の修繕に関する市からの情報発信について、特に充実してほしい内容はどれですか。

	回答数	回答比率
1. 修繕業者の情報	77	18.7%
2. 修繕にかかる資金の借り入れ制度の情報	47	11.4%
3. 修繕の補助金・支援金の情報	274	66.7%
4. その他	13	3.2%
合計	411	100.0%

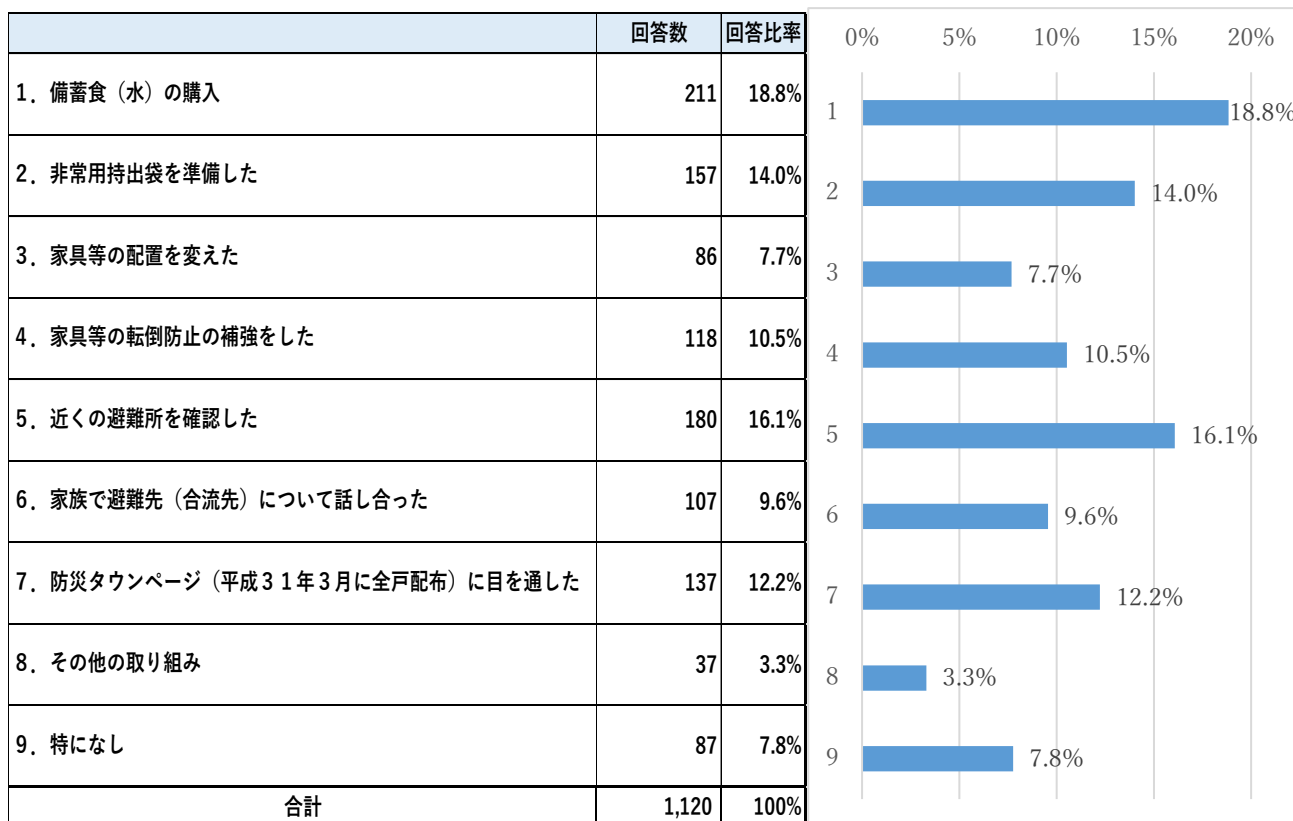


問 1 9 大阪北部地震の発災時には地震保険に加入していましたか。

	回答数	回答比率
1. 地震保険に加入していた	311	64.4%
2. 地震保険に加入していなかったが、今は加入済みである	48	9.9%
3. 地震保険に加入しておらず、今も加入していない	92	19.0%
4. 今後、加入を検討している	32	6.6%
合計	483	100.0%



問 2 0 昨年の地震や台風を受けて、新たに取り組んだことはありますか。(複数回答可)



「8. その他の取り組み」の主な記述

- ・食器入れを開かないようにした。
- ・瓦の種類を変えた。
- ・常備薬を置くようにした。
- ・窓ガラスを強化ガラスに変えた。
- ・保険に加入した。

【集計分析】

「備蓄食（水）の購入」、「近くの避難所を確認した」、「非常用持出袋を準備した」の順で多く、「特になし」を選択した7.8%以外の約92%の人は災害に対して何かしらの取り組み・対策を行っていることがわかる。

問 2 1 摂津市の被災住宅支援について、ご自由に意見をお書きください。

主な意見	回答数
1. より多面的、連続的で分かりやすい情報発信を求めるもの	38
2. 支援制度の充実を求めるもの	44
3. 修繕支援金の額に関する要望など	7
4. 修繕支援金の要件の緩和を求めるもの	16
5. ブルーシートの配布方法に関する要望など	8
6. 応援・感謝	25

1. より多面的、連続的で分かりやすい情報発信を求めるもの に関する主な記述

- ・支援施策についての情報を丁寧に知らせてほしい。
- ・様々な補助などについて、市民に分かりやすくしてほしいと思います。
- ・知らないこともあります。分かりやすい告知をお願いします。

2. 支援制度の充実を求めるもの に関する主な記述

- ・一部損壊の世帯が多く、支援を受けられない世帯も多くあると思う。より市民に多く支援できる制度を作って欲しい。
- ・他の自治体と比較して、もう少し摂津市独自の取り組みがあれば良いのではないだろうか。
- ・ブロック塀の補助制度の上限をアップして欲しい。石垣が対象外になっている。

3. 修繕支援金の額に関する要望など に関する主な記述

- ・支援金額が少なすぎる。
- ・一部損壊にも程度の差があるのに補助金が少ないと思う。

4. 修繕支援金の要件の緩和を求めるもの に関する主な記述

- ・被災住宅修繕支援金制度は所得に関係なく支援するべきだ。
- ・支援金制度の要件を、ゆるくしてもらいたい。
- ・総所得が越えているため支援が受けられなかった。

5. ブルーシートの配付方法に関する要望など に関する主な記述

- ・ブルーシートの配付が遅かった。
- ・ブルーシートの配付時間について。仕事をしている人は取りに行けない時間帯であった。
- ・早い者勝ちは不公平。

6. 応援・感謝 に関する主な記述

- ・支援金制度があり助かりました。
- ・ブルーシートを掛けて頂いたボランティアさんありがとうございました。
- ・受付の方々の対応が親切でした。

【集計分析】

一部損壊でも受けられるような支援制度や独自の支援制度などをはじめとした、支援制度の充実に
関する意見が最も多く寄せられ、次いで情報発信に分かりやすさやきめ細やかさを求める意見が多
く寄せられた。

全体総括

①本アンケートで修繕等が未完了と回答した人の割合は39.2%であったが、60歳以上の単身も
しくは夫婦のみの世帯に絞ったクロス集計では、34.9%という結果であった。また、本市で独自に実施
した被災住宅修繕支援金制度の認知度について、「制度を知っていた」と回答した人の割合は66.3%
であり、問6と同様に60歳以上の単身もしくは夫婦のみの世帯に絞ったクロス集計では、68.1%と
いう結果であった。このことから、高齢者世帯の被害家屋等の復旧状況に遅れがあるのではないか、あ
るいは必要な情報が行き届いていないのではないか、といった懸念があったが、逆に高齢者世帯の方が
修繕率や認知度は高かった。

②情報の収集手段について、市ホームページはいつでも閲覧可能であるものの、一番利用者が少なく、
広報紙が情報収集の手段として最も利用されていることがわかった。このことから、支援に関する情報
は繰り返し広報紙で提供することが有効であるといえる。

③被災住宅修繕支援金制度を利用できなかった理由について、「所得要件を満たせなかった」と回答した
人が63.2%を占めており、問21の自由意見を記述する項目についても、「所得要件が厳しい」、「所
得に関係なく支援すべきでは」といった意見があった。また、修繕等が完了した人のうち53.8%が
100万円以上の修繕費用を要したという結果であった。このことから、個人の資産を守る地震保険の
加入を促す啓発とともに、今後大きな災害が発生した際には、国府の支援の動向を注視し、市としても
可能な限り市民の負担を軽減する支援策の検討が必要である。

④問20では多くの市民が新たに様々な取り組み等を始めていることが伺えるが、万一の備えとしての
食糧やブルーシート等の備蓄や個人でできる災害対策についての啓発・広報を引き続き行っていく。